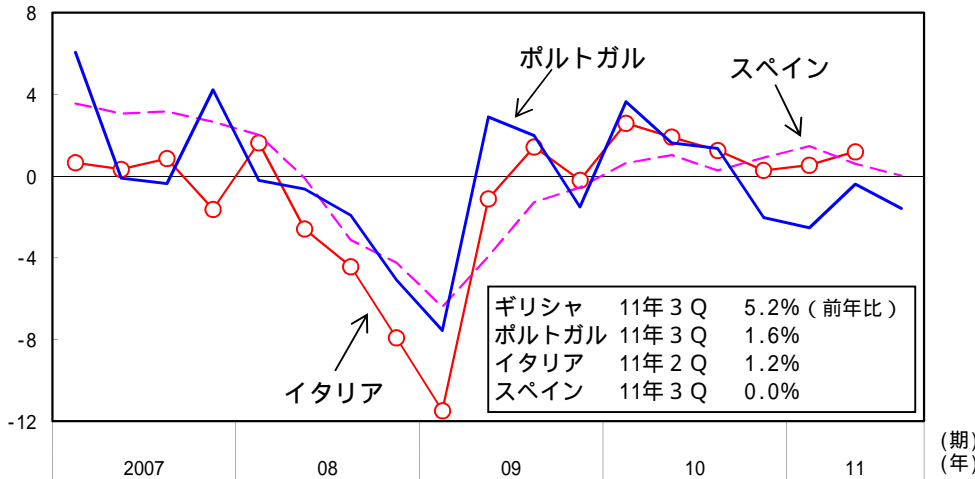
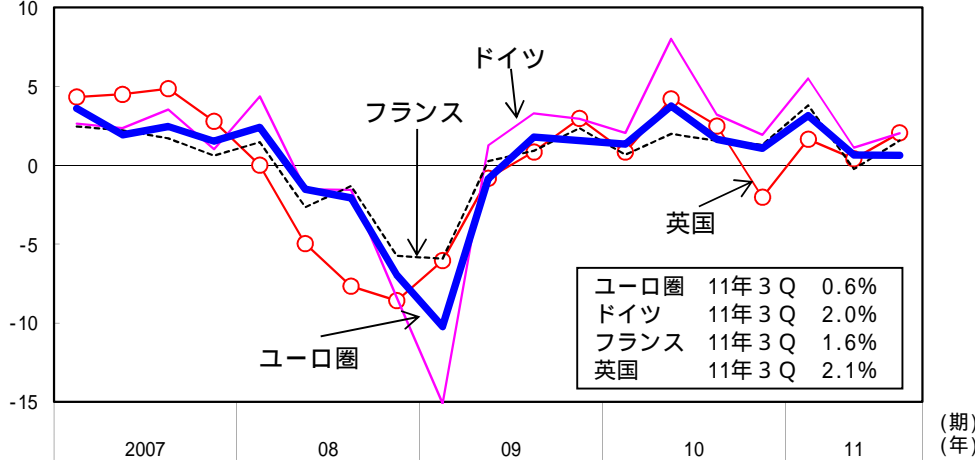


3. ヨーロッパ地域

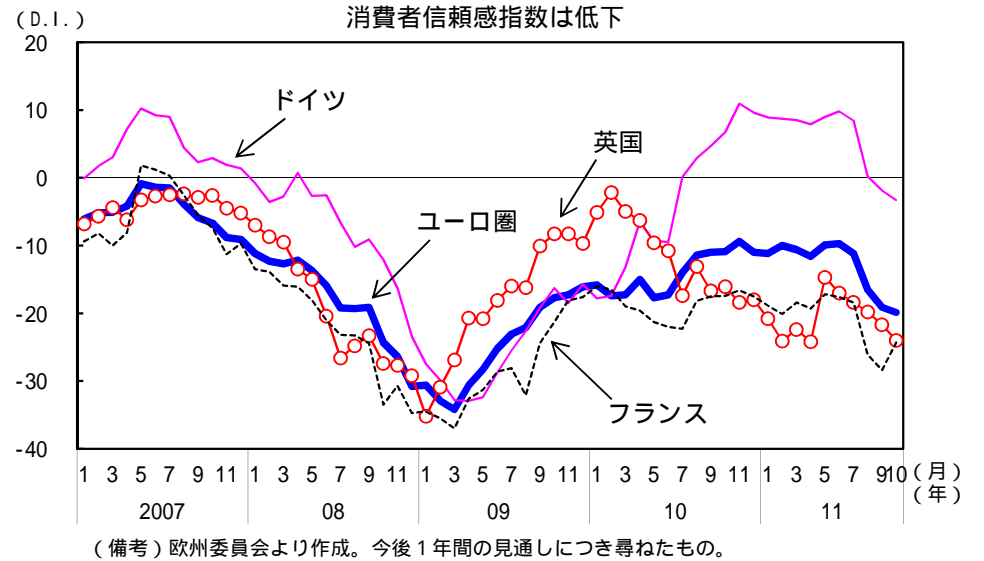
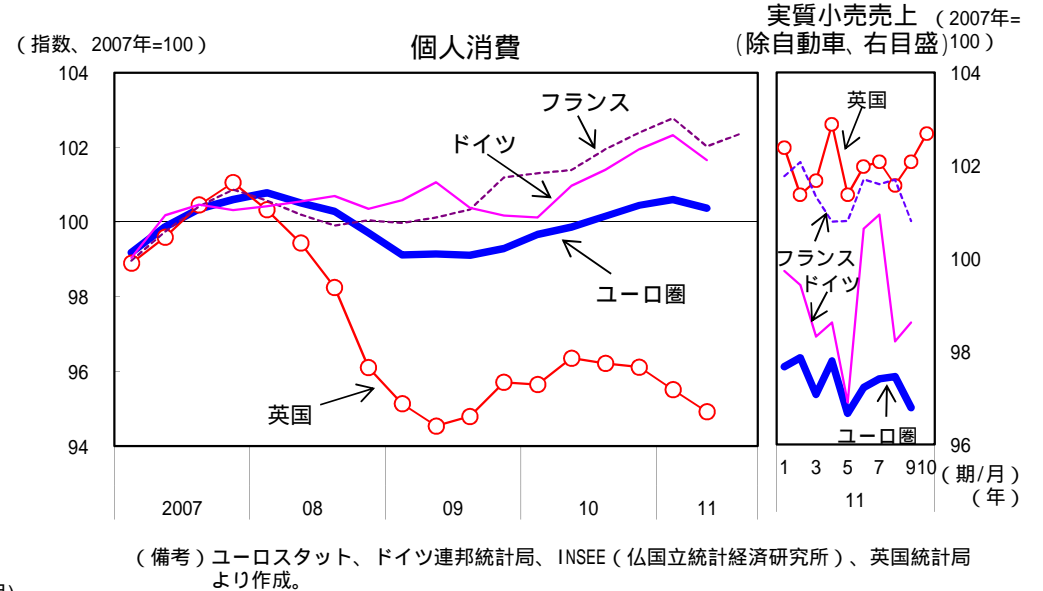
ヨーロッパ地域では、景気は持ち直しのテンポが緩やかになっている。ドイツでは、緩やかな回復となっており、一部に弱い動きもみられる。フランス及び英国では、足踏み状態にあるが、一部に弱い動きがみられる。先行きについては、極めて緩やかな持ち直しが続くと見込まれる。ただし、一部の国々における財政の先行き不安の高まりが、金融システムに対する懸念につながっていることや金融資本市場に影響を及ぼしていることにより、景気が低迷するリスクがある。また、各国の財政緊縮による影響や、高い失業率が継続すること等に留意する必要がある。

GDP ユーロ圏：2011年7-9月期は前期比年率 0.6%成長
 (前期比年率、%) 英国：2011年7-9月期は前期比年率 2.1%成長

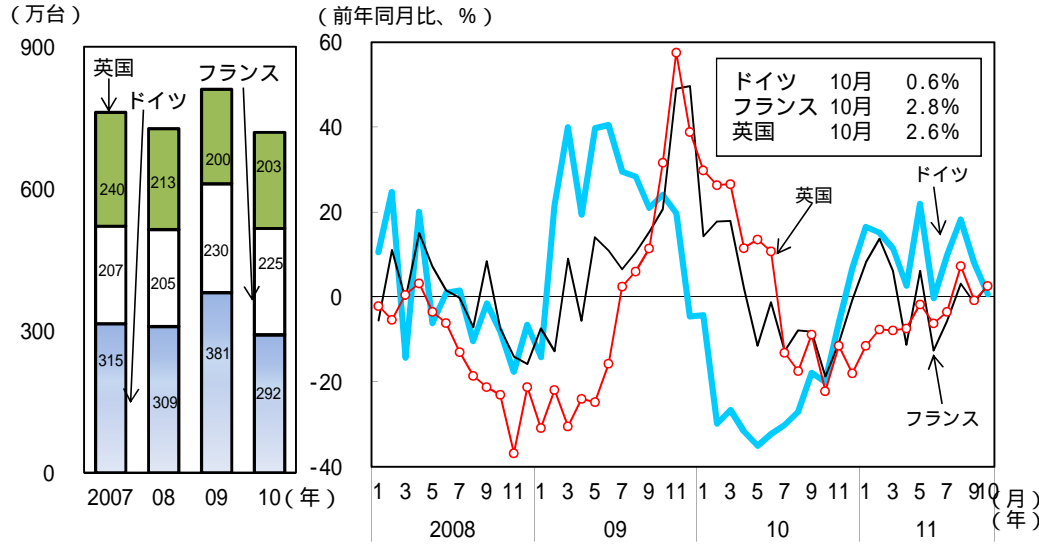


(備考) 1. ユーロスタット、ドイツ連邦統計局、INSEE (仏国立統計経済研究所)、英国統計局、イタリア国家統計局より作成。
 2. ギリシャでは、季節調整値が計算されていない。

個人消費 ユーロ圏：このところ弱い動き
 英国：減少

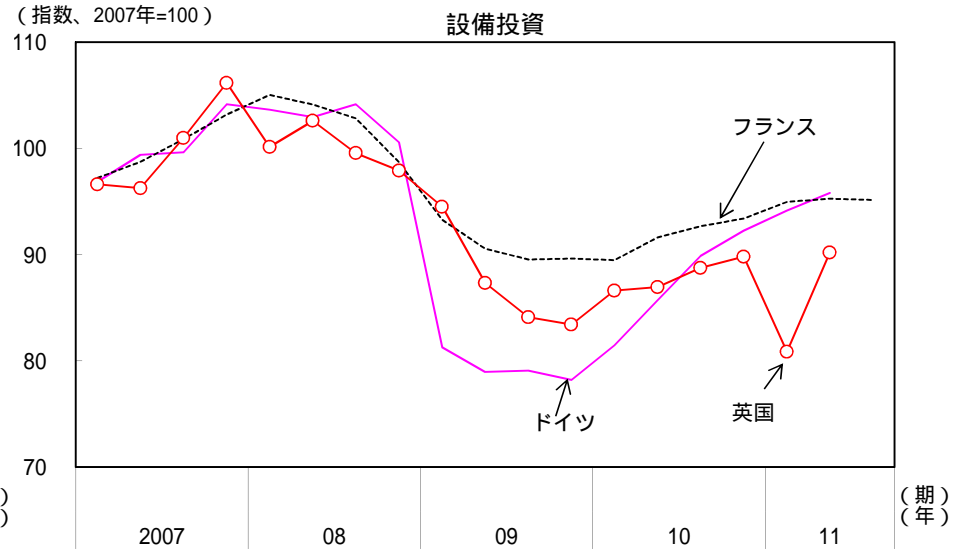


自動車登録台数



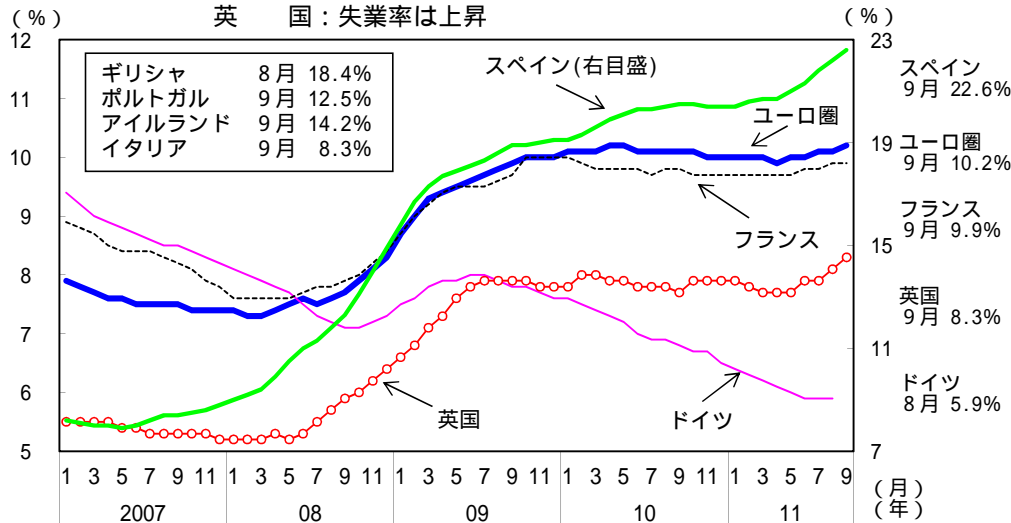
(備考) ドイツ自動車工業会 (VDA)、フランス自動車工業会 (CCFA)、英国自動車工業会 (SMMT) より作成。

設備投資 ドイツ：機械設備投資は増加
フランス：設備投資はこのところ弱い動き
英国：設備投資は増加したが、基調としては弱い動き



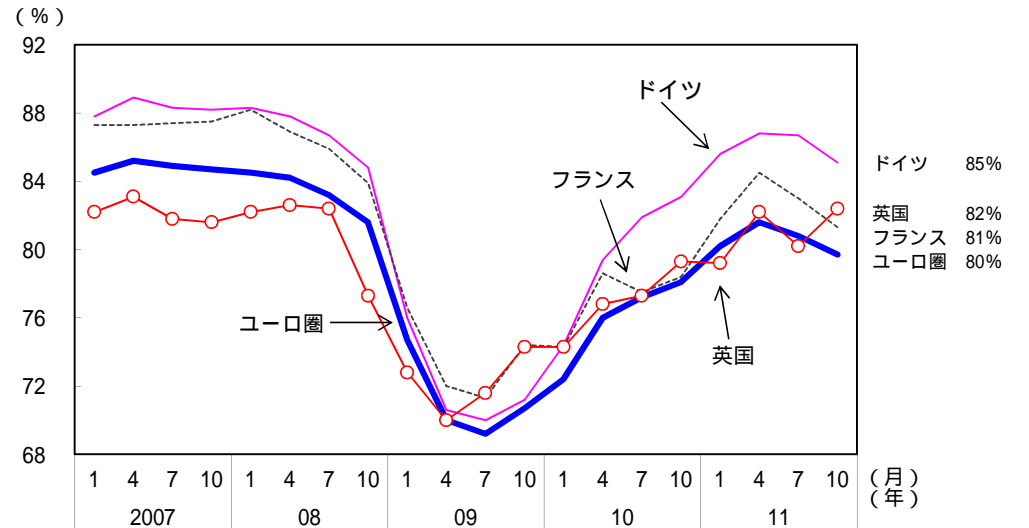
(備考) ドイツ連邦統計局、INSEE (仏国立統計経済研究所)、英国統計局より作成。

雇用 ユーロ圏：失業率はこのところ上昇
(ドイツでは低水準でこのところ横ばい)
英国：失業率は上昇



(備考) 1. ユーロスタット、英国統計局、ギリシャ政府統計局より作成。
2. ギリシャの数値は、原数値 (季節調整値ではない)。

製造業設備稼働率は低下

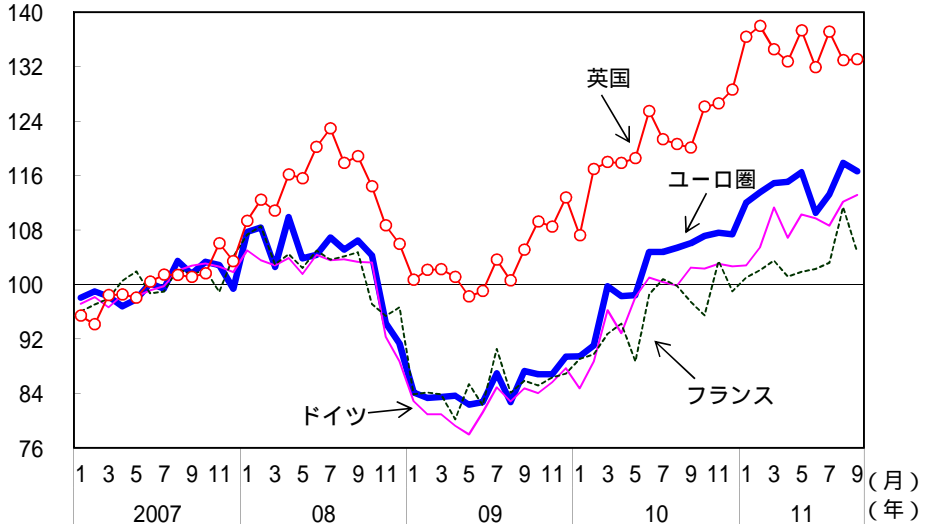


(備考) 欧州委員会より作成。年4回の企業へのアンケート調査。

輸出 ユーロ圏：輸出はおおむね横ばい
 英 国：輸出はおおむね横ばい

(指数、2007年=100)

輸出額

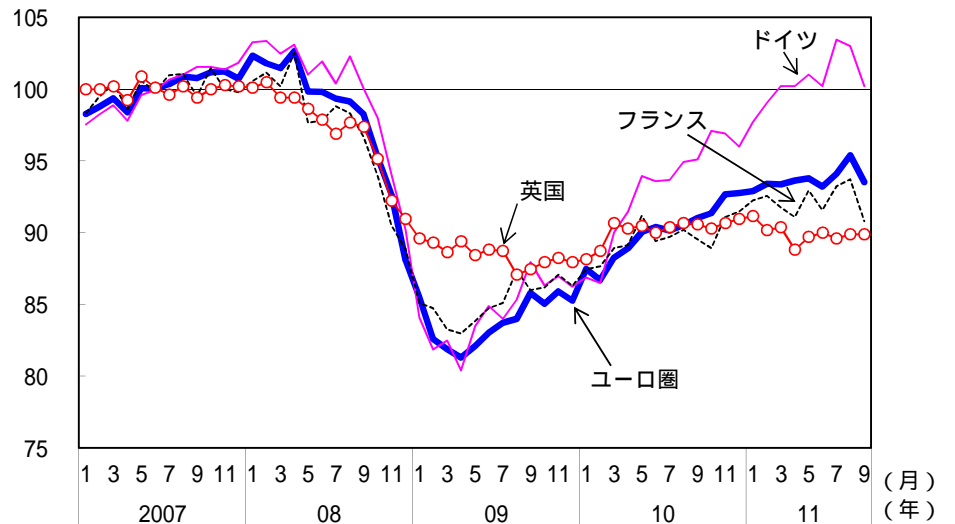


(備考) 1. ユーロスタット、ドイツ連邦統計局、INSEE (仏国立統計経済研究所)、英国統計局より作成。
 2. ユーロ建て及びポンド建て輸出額を指数化したもの。

生産 ユーロ圏：生産はこのところ弱い動き
 英 国：生産は弱い動き

(指数、2007年=100)

鉱工業生産

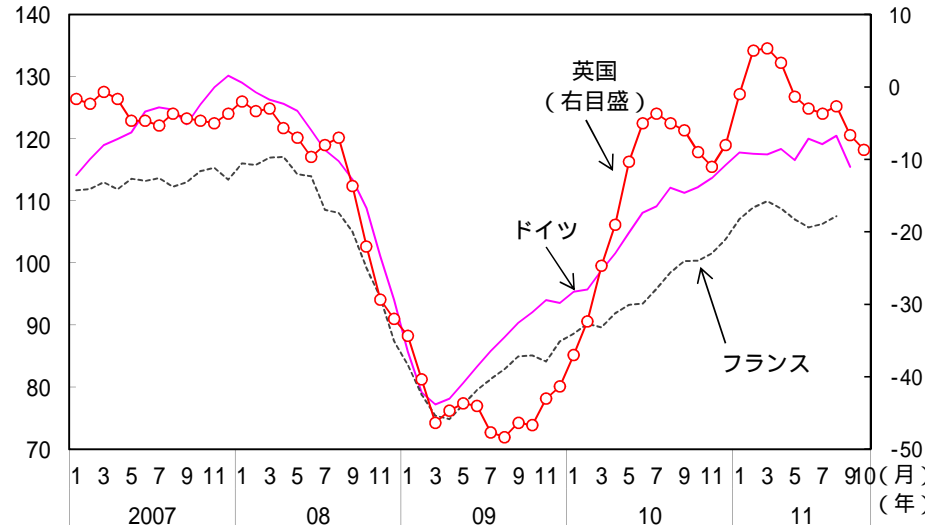


(備考) 1. ユーロスタット、ドイツ連邦統計局、INSEE (仏国立統計経済研究所)、英国統計局より作成。
 2. ドイツは、建設業を含む。

国外向け製造業受注は弱い動き

(指数、2005年 = 100)

(D.I.)

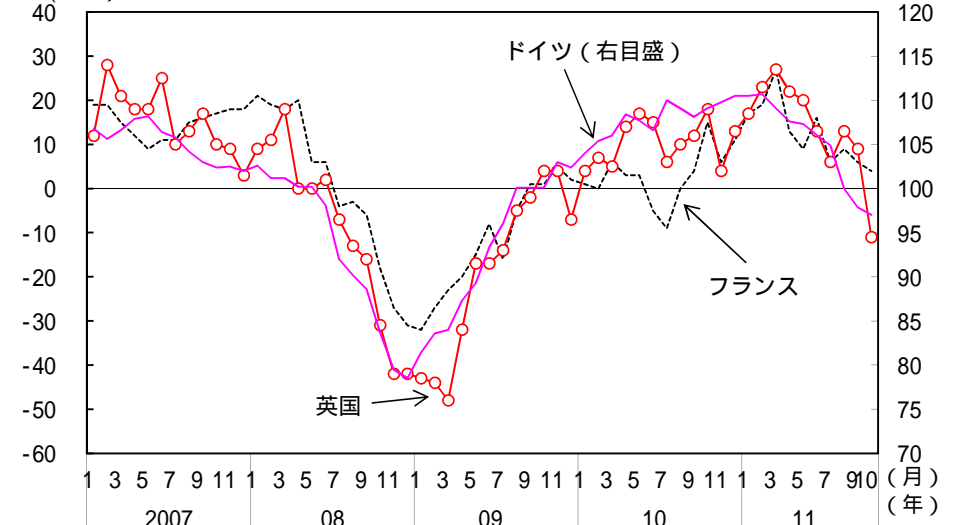


(備考) 1. ドイツ連邦統計局、INSEE (仏国立統計経済研究所)、CBI (英国産業連盟) より作成。
 2. 後方3か月移動平均値。
 3. フランスは、大型受注を除いたもの。

企業の先行き見通しは弱い動き

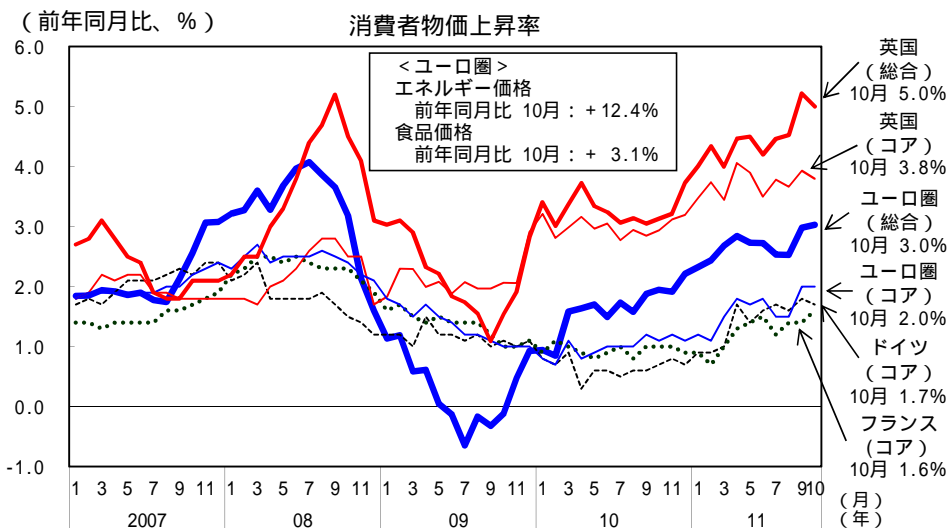
(D.I.)

(指数、2005年=100)



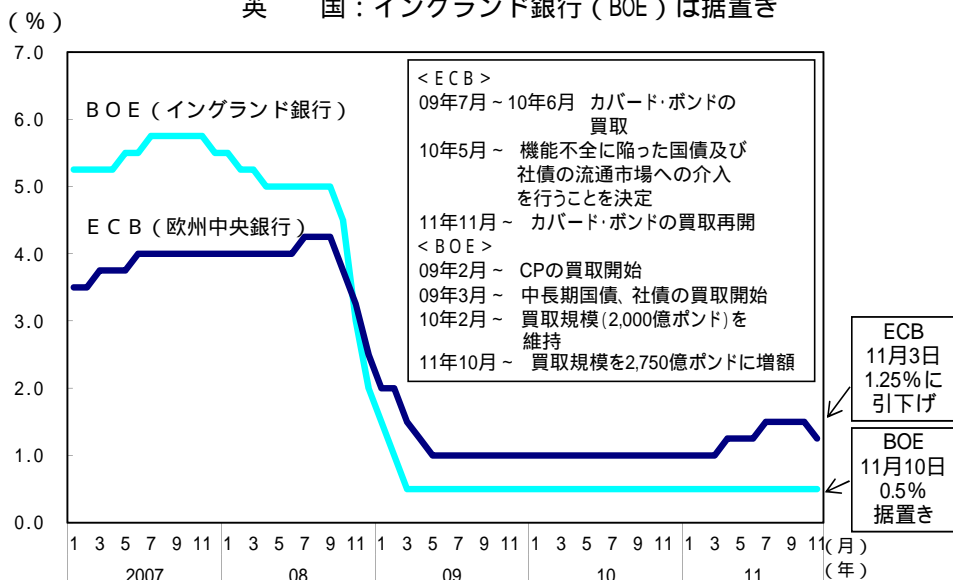
(備考) 1. IFO経済研究所、INSEE (仏国立統計経済研究所)、CBI (英国産業連盟) より作成。
 2. ドイツは6か月先の業況見通し(サービス業除く)、フランスは3か月先の生産見通し(自社、製造業)、英国は3か月先の生産見通し(鉱工業)につき尋ねたもの。

物価 ユーロ圏：消費者物価上昇率はこのところ上昇
 英 国：エネルギー価格等の上昇により、消費者物価上昇率は上昇



(備考) 1. ユーロスタット、英国統計局より作成。
 2. ECBのインフレ参照値は2%を下回りかつ2%近傍。BOEのインフレ目標は2%。
 3. コア消費者物価は、総合からエネルギー、生鮮食品を除いたもの。

政策金利 ユーロ圏：欧州中央銀行 (ECB) は0.25%の利下げ
 英 国：イングランド銀行 (BOE) は据置き



(備考) 1. 欧州中央銀行 (ECB)、イングランド銀行 (BOE) より作成。
 2. なお、スウェーデン中央銀行は2010年7月から7回、ノルウェー中央銀行は2009年10月から4回、利上げを行っている。

E U首脳会議とユーロ圏首脳会議の結果

E U首脳会議 (10/26) 及びユーロ圏首脳会議 (10/27) において、ギリシャ支援やE F S Fの強化、銀行の資本増強等について合意。

1. ギリシャ支援

- ギリシャ政府に対して、2020年までに債務残高GDP比120%までの債務削減を要請 (2010年実績：144.9%)。
- 7月の第2次ギリシャ支援合意から市場環境が悪化したことを踏まえ、改めて、公的部門及び民間債権者の自発的負担からなる支援策を本年末までに策定。
 - ・公的支援：E U・I M Fによる最大1,000億ユーロの支援。
 - ・自発的な民間債権者の負担：元本の50%削減について合意。債務交換を2012年初めに実施。

2. E F S Fの強化

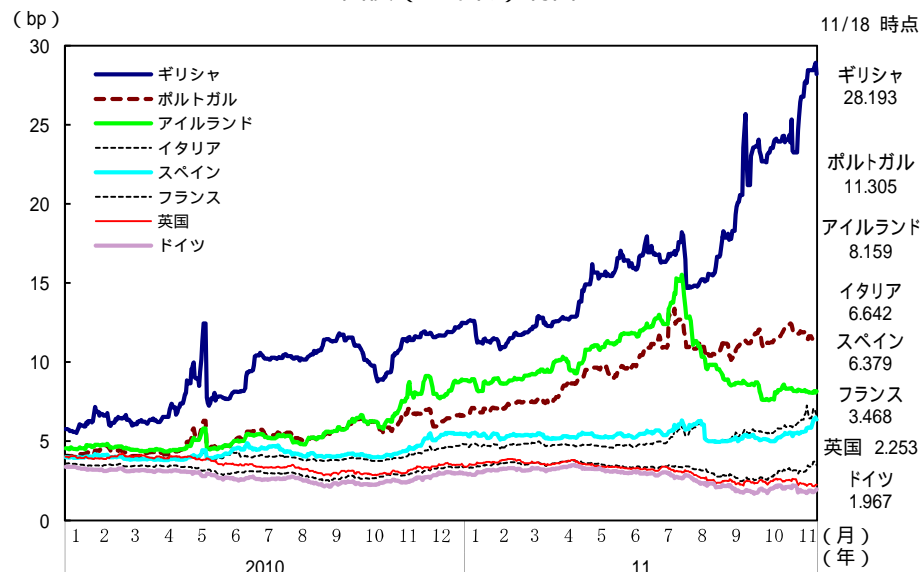
- 以下の2つの方法を検討。
 - ・ユーロ参加国の国債に対する信用保証。
 - ・特別目的事業体 (S P V) の設立。
- これらにより約1兆ユーロまでレバレッジ。
- ユーロ圏財務相会合に対して、11月中に実施条件の策定を要請。

3. 銀行の資本増強

- コアTier1を9%まで増強 (必要資本増強額 (暫定値) は1,064億ユーロ)。
- 中長期の資金調達における銀行債務に対する保証。

4. ユーロ参加国による更なる財政再建の実施

国債 (10年物) 利回り



(備考) 1. ブルームバーグより作成。
 2. アイルランド国債は、国債 (9年物) 利回りの値。